

平成26年9月14日  
今週のベストショット



雁レク軟式4 レッドサンデーズ 対 ソルトベイスターズ戦  
終盤の満塁のピンチを5-2-3のWプレーで凌ぐサンデーズ土師三塁手と荒口捕手。

写真：三苫フレンズ 肥喜里一征

**青松園A チャンスに確実に得点を入れたパイレーツが勝利！**

塩浜ジャガーズ（2勝7敗0分）00000 0 道喜●-橋村

新町パイレーツ（4勝4敗2分）3432X 12 吉田○、山本-小黑

HR：吉田、八坂、桐島（新町パ） 2BH：小黑、白岩（将）、山本（新町パ）

盗塁：小黑、八坂、大濱（新町パ）

どちらとも勝数を伸ばしたい新町パイレーツと塩浜ジャガーズの一戦となった。先発はパイレーツ吉田投手、ジャガーズは道喜投手。ジャガーズ先攻で始まった試合は一回表、ジャガーズ二番稲富選手がライト前ヒットで出塁すると続く三番堀内選手がライト横に運ぶ二塁打を放ち、一死二三塁の先制のチャンス！そしてジャガーズ監督で四番水流（隆）選手の三塁ゴロの間に稲富選手がホームを突くがタッチアウト！先制はならなかった。一回裏、道喜投手はパイレーツ先頭桐島選手を三塁ゴロに討ち取り、二死までテンポよく進んだが、二四球で二死一二塁となった。そしてこのチャンスに五番吉田選手がライナーで左中間を破る3ランで3点を先制。二回裏、パイレーツは八番川田選手がライト前で出塁する。続く八坂選手がレフトオーバーを放つとダイヤモンドを疾走し2ランHR。そして二番小黑選手、三番白岩（将）選手、四番山本選手の三連続二塁打で更に2点を追加した。三回表、ジャガーズは二死から二番稲富選手が吉田投手の球を綺麗にセンター前に弾き返して出塁するがあとが続かず、点を入れることができなかった。三回裏、パイレーツはエラーと九番八坂選手のヒットで一死二三塁とすると一番桐島選手が三塁の頭上を越えレフト横を抜ける3ランHRを放ち3点を追加した。四回表、ジャガーズはエラーで出塁するが、パイレーツのWプレーもあり、なかなか点をとることが出来ない。四回裏、ジャガーズは道喜投手を更に攻める。パイレーツ五番吉田選手がレフト前で出塁すると続く六番大濱選手もレフト前ヒッ



トで一死一三塁。そして七番大野選手がセンター前を放ち1点追加。一死満塁で九番八坂選手の三塁ゴロの間に三塁ランナーが返り更に1点を追加。五回表、パイレーツはそれまで一塁を守っていた山本選手がマウンドに上がる。3点返さないでコールドゲームとなるジャガーズは七番田中選手がセンター前ヒットで出塁すると八番水流(端)と九番松下選手が倒れ二死となりこれまでかと思われた。しかし、一番竹尾選手がライト前ヒットを放ち二死一二塁とチャンスメイクする。そしてこの日吉田投手から2本ヒットを放っている稲富選手が打席に立ち、放った打球は一矢報いるかと思われたが、ショートライナーでゲームセットとなった。吉田投手の好投とチャンスに確実に得点を重ねたパイレーツの打線は素晴らしかった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)



パイレーツ先発吉田投手



一回表、ライト前ヒットのジャガーズ稲富選手。



一回表、ライト横にヒットを放つジャガーズ堀内選手。



先制3ランの吉田選手を笑顔で迎えるパイレーツベンチ。



二回裏、2ランHRを放つパイレーツ八坂選手。





二回裏、二塁打を放つパイレーツ小黑選手。



二回裏、レフト前ヒットを放つパイレーツ白岩将選手。



二回裏、ライト前にヒットを放つパイレーツ山本選手。



三回表、2本目のヒットを放ったジャガーズ稲富選手。



真剣な眼差しのパイレーツ三遊間コンビ。



五回表、センター前ヒットを放つジャガーズ田中選手。



五回表、ライト前ヒットを放ったジャガーズ竹尾選手。



試合後、ミーティングをするジャガーズベンチ。



## 雁レク軟式4 レッドサンデーが17安打3本塁打10得点の快勝！

レッドサンデー (6勝3敗) 1030042 10 江口○-荒口

ソルトベスターズ (3勝8敗) 0020100 3 中村(耕)●-田中(広)

HR: 江口、島村、前田(レッド)、中村(健)、八柄(ソルト) 2BH: 中村(健)(ソルト)

一回表、レッドサンデーは一番江口選手が四球、WPと二番土師選手のセンター前で無死一三塁。土師選手が二盗を刺されるも、島村選手、八島選手の連打で幸先よく1点を先取。その裏のソルトベスターズは、三番中村(耕)選手が内野安打で出塁するが、淡白な攻撃で江口投手の前に0点に抑え込まれる。三回表レッドは、一番打者からの好打順。江口選手が内野安打で出塁し、続く土師選手がセンター前。四番八島選手が三塁線を抜くタイムリー、六番荒口選手がセンター前2点タイムリーでこの回3点を奪う。ソルトも必死に食らいつく三回裏、二死から一番中村(健)選手が快速を飛ばし二塁打を陥れると続く二番八柄選手が左中間を抜ける2ランを放ち、試合を壊さない。五回裏、今度は中村(健)選手が右中間へソロHRを放ち4-3と必死に喰らいつく。しかしレッドサンデーは六回にビッグイニングを呼び寄せる。三番島村選手が右中間への3ラン、六番前田選手にも左越えソロHRが飛び出し一気に4点を追加し突き放した。七回表にも、今度は江口選手の左越え2ランが飛び出し、本日4打数4安打。投手でも完投で締めくくり大活躍の一日。最後までレッドサンデーが主導権を握り17安打の猛攻で快勝した。久々の爽やかな秋空の下、伸び伸びと気持ちよく試合ができたのか、両チーム合わせて25安打5本塁打と大変盛り上がった試合だった。(記事、写真:三笥フレンズ 肥喜里一征)



久々の晴天の下、気持ちよく試合開始。



ソルトベスターズ先発中村(耕)投手。



6勝目を挙げたレッドサンデー先発江口投手。



三回表、三塁線を抜くタイムリーヒットを放つレッド四番八島選手。





三回表、センター前を放ち喜ぶレッド七番稲又選手。



三回裏、快速を飛ばし二塁打とする中村（健）選手。



三回裏、2点本塁打を奪い取るソルト二番八柄選手。



四回表、向けるか？田村選手・・・結果は遊ゴロ、残念。



六回表、本日3安打目のレッド二番土師選手。



六回表、今季初HRを放ったレッド五番前田選手。



六回裏、5-2-3のWプレー！レッド土師選手、荒口捕手。



2ランを含む4打数4安打の大活躍！江口選手。



## 青松園B 初回の1つのミスが勝敗を決す！

奈多フェニックス（5勝3敗1分）102000 3 今林(勇)●ー実延(新)

奈多サンデーズ（8勝1敗1分）43000× 7 塚本○ー長濱

2BH：田中(俊)、長浜、鳥羽(奈多サ)

一回表奈多フェニックスは、一番高原選手がレフト前で出塁すると四番実延(彰)選手がライト前ヒットを放ち、タイミングは際どかったが走者高原選手が一気に本塁へ突っ込むと奈多サンデーズの木下右翼手の暴投で1点をもぎ取る。一回裏サンデーズの攻撃は、一番川上選手が四球、二番大川選手が追い込まれた所で盗塁を仕掛けるも実延(新)選手のストライク送球で三振ゲッツーとなり流れはフェニックスかと思われた。が、続く3番田中(俊)選手がレフトへの二塁打を放つ。ここで4番秋山選手はサードゴロとなるが三塁手今林(英)選手が一塁へ悪送球で1点を返されると、これで先発の今林(勇)投手のリズムが乱れ四球を挟み3長短打でさらに3点を失う。二回裏にもリズムの戻らない今林(勇)投手は3点を奪われる。三回表フェニックスは二死から三番今林(勇)選手が四球を選ぶと実延(彰)選手のレフト前安打にエラーが重なり1点を返すと続く山村選手のショートゴロで送球された球を途中出場の一塁手野々下選手が後逸し、もう1点追加。その後は両チーム共に攻め手を欠き六回表フェニックス最後の攻撃は二死から池見選手、今林(心)選手の連打で意地を見せるが、一番高原選手が打ち上げてしまい試合終了となる。勝ったサンデーズは前半の集中打と塚本投手の変化球で打ち取るピッチングは見事！対するフェニックスは初回のエラーを切っ掛けで失った流れは最後まで跳ね返せなかった試合となった。

(記事：新町ウインズ 野中一史、写真：桐島司)



ホンワカボール？



セーフティバントを仕掛けるサンデーズ土田選手。



四番の仕事を果たすフェニックス実延彰洋選手。



この人持ってます。このハーフスイングでボール判定、サードゴロを打っても大暴投で出塁のサンデーズ四番秋山選手。





初回、二盗を刺すフェニックス実延新伍捕手。



二回表、先頭打者のライン際ファールフライを好捕したサンデーズ長浜捕手。

### 雁レク軟式3 ライナーズ、チャンスに後一本が出ずホーネットツに惜敗

三苫ホーネットツ（7勝1敗1分）2052 9 矢野○—広木

雁ノ巣ライナーズ（9勝3敗）0112 4 鳥越●—吉田

HR：今田（三苫ホ） 3BH：松尾（三苫ホ） 盗塁：稲葉2、山崎、矢野（三苫ホ）

一回表雁ノ巣ライナーズは、立ち上がりには守備のエラーが重なり2点を与えてしまう。逆に三苫ホーネットツ先発矢野投手は、上々の立ち上がりを見せ無失点でこの回を締める。二回表、ライナーズ鳥越投手が本来の投球を見せ、無得点で切り抜け味方への良い流れを作ると、その裏に相手のエラーも重なり二死ながら三塁のチャンス。ここで国崎選手のタイムリーが飛び出し、まず1点。その後四球、エラーなどで満塁と一打逆転の場面を作るが後一本が出ない。三回表ホーネットツは、二番稲葉選手のヒットから足を絡めてライナーズにプレッシャーをかける。ここからエラーが絡み1点。更に鳥越投手の乱れからチャンスを広げると、四番広木選手のタイムリー、六番今田選手の本塁打が飛び出し大量5点を挙げて一気に流れを掴む。その裏このままでは終われないライナーズも一死満塁のチャンスを作るが1点止まり。四回表、鳥越投手が流れを掴めず四球が重なり2点を献上。四回裏、何とか頑張っていた鳥越投手にライナーズ打線が応え始める。相手のミスもあり二死ながら二三塁で三番中口選手の2点タイムリーに四番宇野選手も続き満塁で強打者六番久保田選手を迎える。しかし後一本が出ずこのままタイムアップ。好投手ホーネットツ矢野投手に対して幾度となくチャンスを作ったライナーズではあったが、後一本が出ずに惜しい敗戦となった。（記事、写真：奈多クラブ 吉田貴史）



晴天の下、試合開始！



ライナーズ先発鳥越投手。



ホーネット先発矢野投手。



二回裏、内野安打を放った久保田選手。



二回裏、タイムリーヒットを放つライナーズ七番国崎選手。



自らのエラーもこの回を最少失点で抑えた矢野投手。



三回表、決勝HRを放った六番今田選手をホームで迎える。



四回裏、タイムリー内野安打を放つライナーズ中口選手。

## 第19週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第19週、9月14日は、4試合が行われました。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対新町パイレーツ戦は、初回から打線がつながったパイレーツが12安打で12点を奪うと、投げては吉田投手が見事完封勝利。初回から3イニング連続でHRが出たパイレーツは、これでや



つと勝率5割復帰。前回好投したジャガーズ道喜投手だったが、この日はパイレーツ打線に掴まってしまった。

雁レク軟式4のレッドサンデーズ対ソルトベイズスターズ戦は、先制、中押し、ダメ押しと理想的な点を挙げたレッドが今季最多の3HR17安打で10得点。2HRで一時1点差までせまったソルトだが、レッド江口投手がピッチングとバットで立ち塞がった。レッド前田選手にも待望の一発が飛び出し、チームは一気に活気づいた。

青松園Bの奈多フェニックス対奈多サンデーズ戦は、両チーム初回からミスで失点するが、サンデーズ塚本投手がいち早く立ち直ったのに対し、フェニックス今林勇太投手の立ち直りが遅れ、それに付け込んだサンデーズの集中打で二回で勝負は決してしまった。塁に出すものの要所を締めたサンデーズバッテリーの勝利か。

雁レク軟式3の三苦ホーネッツ対雁ノ巣ライナーズ戦は、先制してから一度も逆転を許さなかったホーネッツが、ライナーズの追撃を振り切り9-4で勝利。シーズン前半の活躍から一転、途中から投球の定まらないライナーズ先発の鳥越投手は、先発の座を有馬投手に譲るなど、この試合に懸ける気持ちは強かっただろうが今回も連打に四死球が加わり、先発の責任を果たすことは出来なかった。一方ホーネッツ矢野投手は、ランナーは出すものの、粘りのピッチングと主軸を務めるバッティングでチームの勝利に貢献した。

お隣韓国の仁川（インチョン）で第17回アジア大会が開催されています。

実施競技は2011年に東京で行われたOCA総会で決定され、オリンピック競技28競技（ゴルフ・ラグビー含む）、独自競技8の合計36競技で行われます。

五輪種目：水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング??、カヌー、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ボート、ラグビー、セーリング、射撃、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、重量挙げ、レスリング

非五輪種目：野球、ソフトテニス、ボウリング、クリケット、カバディ、空手、セパタクロー、スカッシュ、武術太極拳

・・・ソフトボールがない。

アジア大会では開催されていないソフトボールですが、WSLでは毎回熱い試合が開催されています。

その熱い戦いをしっかりHPに載せていきたいと思います！

皆さん、しっかりアピールしてください。